



校章の由来

昭和24年、高校再編により発足した時に、当時の在校生に公募した作品の中から選ばれた。所在地の大竹市の地名にちなんで三方に伸びる竹にペンを配置したもの。「竹のごとく素直に伸び育ち、学業にいそむ校風」の樹立を願った校章。

大竹高校100年の歩み

年号	西暦	月日	内容	
大正	10	1921	4月27日 大竹女子実業補習学校として、大竹東尋常小学校敷地(現大竹会館)に創設	
	15	1926	4月27日 大竹実科女学校と改称	
	8	1933	12月27日 大竹尋常高等小学校敷地(現大竹小学校)に移転	
	11	1936	3月27日 高等女学校令により広島県大竹実科高等女学校設立	
昭和	18	1943	4月 1日 中等学校令による広島県大竹高等女学校と改称	
	22	1947	10月18日 大竹町下白石海軍海仁会跡を借用移転	
	23	1948	5月 3日 広島県大竹高等学校設置認可 大竹町小島新開の元海軍大楠機関学校跡地を購入	
	23	1948	5月22日 第1回入学式挙行	
	24	1949	4月30日 広島県大竹高等学校再編成により旧学校は廃止され新たに広島県大竹高等学校設置(全日制普通科、商業科、家庭科)(定時制普通科、商業科)	
	25	1950	7月20日 大竹町小島新開270番地旧海兵団跡2棟の転用を受け改築移転	
	26	1951	4月 1日 広島県大竹高等学校大野分校(定時制)設立	
	30	1955	4月 1日 家庭科を生活科に学科改編	
	34	1959	3月31日 定時制大野分校(昼間被服科)廃止	
	37	1962	3月31日 定時制大野分校募集停止 現在地に移転	
	38	1963	4月 1日 生活科を家庭科に学科改編	
	43	1968	10月 1日 広島県立大竹高等学校と改称	
	63	1988	3月31日 講堂兼体育館竣工	
	平成	5	1993	4月 1日 家政科を生活科学科に学科改編
		9	1997	4月 1日 普通科・商業科・生活科学科を総合学科に学科改編
		17	2005	3月31日 定時制課程閉課程
24		2012	11月 8日 ハワイ州カラヘオ高校と姉妹校提携	
令和	3	2021	11月20日 創立100周年記念式典挙行	



色とりどりの花を咲かせる『クラインガルテン』。平成14年に開園。生徒たちの世話で、『全国花いっぱいコンクール』で、数度の表彰も受けた。



書道部の筆による100周年を告知するポスター。市内の各施設や店舗に貼りだされている。

校歌

青垣の山 色溶けて
 小瀬川清く 注ぐ辺に
 朝夕や若人の 学び舎は
 道にいそしむ 並び立つ
 大竹高校 吾等が母校

朝もや煙る 瀬戸内の
 いつきしま山 聖り嶺に
 希みをたぐえ いや高く
 集う若人 同胞は
 心も浄く 明らかし
 大竹高校 吾等が母校

真澄の空に 若竹の
 伸びゆく姿 さながらに
 直くも正し たくましく
 互いに睦ぶ 友垣は
 いざや進まん 光栄の道
 大竹高校 吾等が母校

作詩 足立満里子 作曲 森田武臣

百年分の「今」を積み重ね

大竹高校「若竹」たちの一世紀

今から100年前、大正の世に産声を上げた大竹女子実業補習学校。幾多の時代の変遷を経て、現在の広島県立大竹高校として歴史を刻んできた。その歴史は、この学校に通い学んできた数多の生徒たちが、その時その時に歩んできた足跡の積み重ねにほかならない。

100年の歴史を踏まえながら、新たな時代へと漕ぎ出していく、大竹高校の「今」を見つめたい。

【取材 企画財政課】

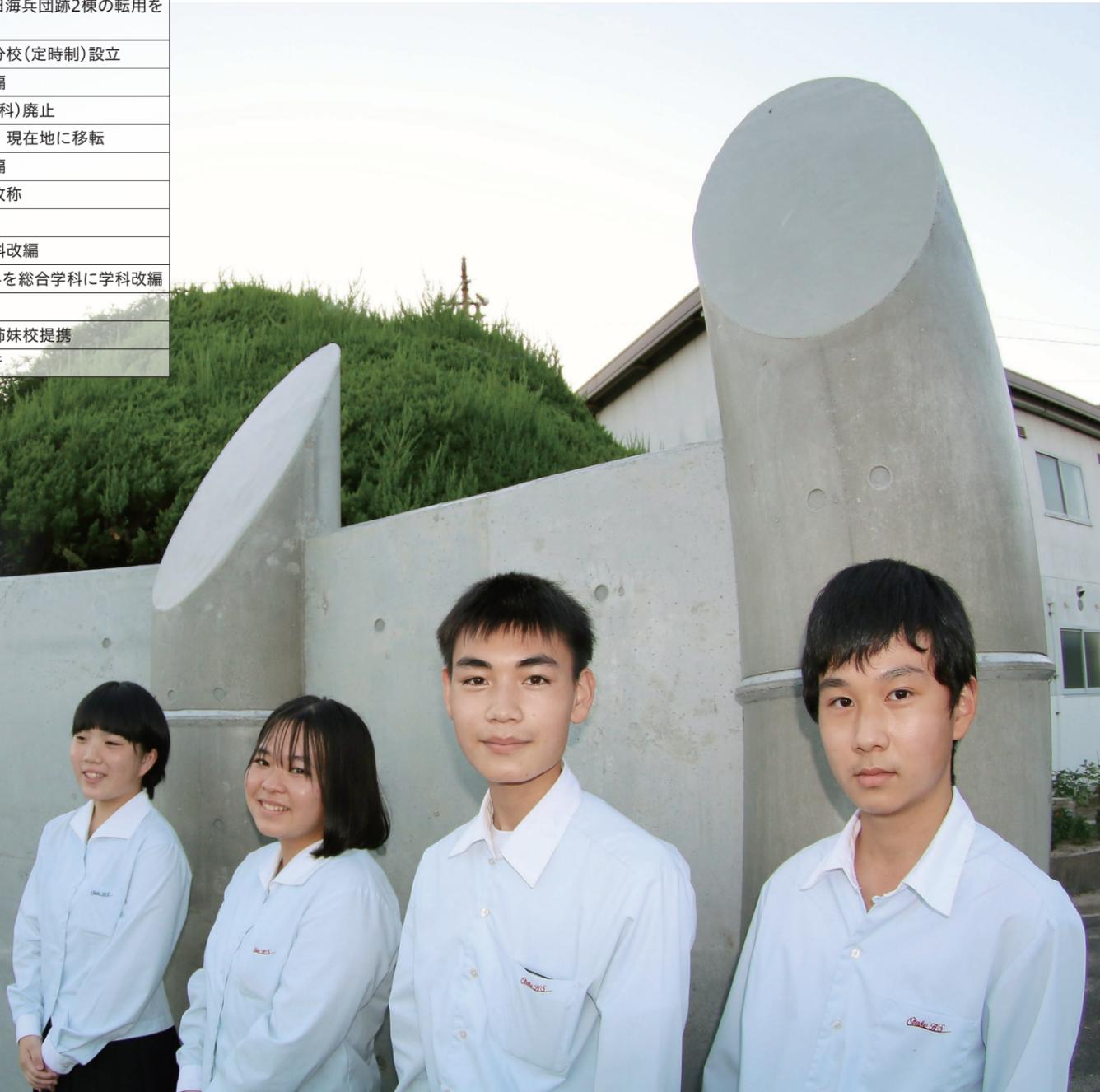


大河原山から望む現在の高校。小高い丘に広がる校舎と運動場。



100周年記念事業の一つ、高校正門が改築された。竹をモチーフにした門柱が目目をひく。

正門の前に立つ生徒会の役員たち。このメンバーによる座談会は、8ページに掲載。



(右) 東栄地区にあった旧海軍海兵団の兵舎を譲り受けた校舎。セーラー服姿の女生徒の姿も見える。(左) 昭和37年、現在地に移転したころ。



100年という節目に校長に就任されましたが、どのような思いでしょうか。
100年という歴史、伝統校のありがたさを感じています。市内に100周年ののぼり旗を立てさせてもらいましたが、皆さん快く応じてくれました。同窓会や地元の方の支えを実感しています。

次の100年が

迎えられるように。

大竹高等学校 増田 隆 校長

100年という歴史から関わってきた人、大竹高校を愛している人が大勢いるということですね。
一方で、次の100年に、どうつなげていくかという宿題をもらったように思っています。

Interview

就任されて半年が経過しましたが、この学校にどのような印象をお持ちでしょうか。
課題のある学校だと言われて来たのですが、そんなことはない。生徒たちは素直だし、先生方も一生懸命やってくれています。生徒が帰りがけに、窓越しにあいさつしてくれる。



3年生のときのチームメイト。清永さん(前列左)、橋本さん(前列中央)、広瀬さん(2列目左)

こんな高校生は見たことありませんでした。生徒が卒業するときに、「大竹高校に来て良かった」と応えてもらえるようにしたいと思います。

「先ほど、課題という言葉がありました。素行に問題があった時代の影響でしょうか。実際、登下校のときの態度が良くなかったときもあった

驚きました。現状はそんなことはないのに、以前ついたイメージを皆さんが持つてしまわれる。それを変えるには、校長が通信を出す方法がいいと考えたからです。生徒たちには校長が何を大事に思っているかを知ってほしい。いいことがあれば褒めることを書くし、ときには「ブチ切れたゾ」と書いたりすることもある(笑)。親にどれだけ見せてくれているか分かりませんが、保護者から読みましたと反応もあります。こうした取り組みは、小中学校では当たり前ですが、高校ではめずらしいのではないのでしょうか。



大竹高校 ホームページ

のでしよう。今は、そんなことはないです。過去の印象から、そういうふうに使われているのかもしれない。うちの大きな課題の一つで、情報発信がうまくできていなかったのだと思います。

そのほか、どのような取り組みを考えていますか。
来年から教育テーマとして、「地域探究」「地域貢献」を考えています。西国街道の研究、伝統工芸の手すき和紙への取り組み、キクイモのレシピ開発、企業とのタイアップなど、大竹市すごいと認識するようなことをやっていきたい。

自治会でも回覧されていますね。
主な情報をピックアップして、地域の方にも読んでもらえるようにしています。

そのほか、どのような取り組みを考えていますか。
来年から教育テーマとして、「地域探究」「地域貢献」を考えています。西国街道の研究、伝統工芸の手すき和紙への取り組み、キクイモのレシピ開発、企業とのタイアップなど、大竹市すごいと認識するようなことをやっていきたい。

やっぱり、うわさではなく、ちゃんと知るといことは大事ですから、こうした取り組みは素晴らしいと思います。
ところで、先日新聞でも紹介されていますが、校内塾とこののを始めたことがあります。

同窓会などが運営協議会を立ち上げて、取り組んでいるということがありますね。運営する上での課題はありますか。
やはり費用の問題です。皆さんからの支援もお願いしたいです。アゼリアおたけ、郵便局などは、100周年記念事業と併せた趣意書などを置いてくれます。高校のホームページからも申し込みます。



最後に市民の皆さんに一言お願いします。
市内にある唯一の県立高校です。市民の皆さんのためにも、次の100年を迎えられるように頑張りたい。今後ともご支援をよろしく願います。

変わらぬ友情 幾星霜。 大竹高校野球部チームメイト

清永 恵三 さん (南栄2)
広瀬 叔功 さん (廿日市市)

Memories



いつでもオレ、お前の仲。清永さん(右)と広瀬さん(左)

大竹高校のOBで同窓会長、そして100周年記念事業実行委員長を務める清永恵三さんと、高校野球部でチームメイトだった、元南海ホークスの外野手で、監督も務めた広瀬叔功さんに、高校時代の思い出を伺った。
2人が入学したのは、新制高校として出発して間もない昭和27年。当時は旧海軍海兵団跡地に校舎があったところだ。

「当時野球部の評判は良くなかったため、入部するのは嫌だった」と清永さん。
広瀬さんは、大野中学校時代から名の知られた選手だった。そのため野球部の上級生から毎日のように誘いを受けていたという。

「姉が教員をしていたので、高校から大学へ行って、自分も先生になろうかと思っていた」。広瀬さんは振り返る。
ところが、中学時代に対戦したことのある選手が、有名校で活躍していることを知り、自分のほうが上手なのに、負けず嫌いな性分に火が付いて入部を決めたそう。

道へと進んだ。
広瀬さんは、22年間のプロ野球人生で、首位打者、盗塁王という輝かしい成績を残し、名球会、野球殿堂入りを果たしている。

しかし、当時の野球部は弱小チーム。練習もまともにしなかったと2人は笑う。
「それが2年生のとき、府中と対戦して初めて1回戦を勝った」。初勝利を思い出しながらうれしそうに清永さん。

清永さんは、その後帰郷し、母校の野球部監督に就任。昭和34年の春の県大会では、準決勝で強豪広陵高校を、決勝戦では廿日市高校を破り初優勝を勝ち取った。

「まあ、2回戦ですぐ負けましたけど」と苦笑する。
卒業後、清永さんは埼玉県の実業団、広瀬さんはプロの

「そのときの野球部の部長だった橋本先生(故人)が、もし勝ったら坊主になってやると言っていた。そうしたら優勝してしまった。翌日、先生は本当に坊主頭になって学校に来ました」とほほ笑む。
このエピソードは、当時の新聞にも載ったと、記事の切り抜きを見せてくれた。

昭和34年初優勝を飾ったチーム。後列左から5人目が監督時代の清永さん。



昭和34年初優勝を飾ったチーム。後列左から5人目が監督時代の清永さん。

まるで昨日のこのように話してくれる2人。卒業から66年という歳月が流れても、なお友情は変わらない。そして、学びや青春時代を過ごした日々は一生色あせない。
「市内には4、5千人の卒業生がいます。大竹高校が魅力ある学校となるように頑張ってほしい」。そう先輩からのエールが送られた。

司会 100周年というのは、今の皆さんみたくに通って来た生徒が、100年間いたということなんです。今日は皆さんが、どんなふうにかを考えて学校に通っているのかを聞いてみたいと思います。

まず、最初に大竹高校は総合学科がありますが、皆さんどんな科目を選択しているのか教えてください。

永安 将来情報系の仕事に就きたいと思っていますので、そういう科目を選んでいきます。

司会 自分が高校生のころは、将来のことなんか考えていなかったのですね。

山中 数学とか、英語、社会、古典とかを選択しています。

司会 まんべんなく選択していますね。将来なりたいたい職業ってあるのかな。

山中 親がトリマーをやっているんで、その影響でやりたいなと思っています。

司会 親御さんが喜びますね。翔くんはどんなことを中心に学んでいますか。

伊舎堂 情報系とか介護とか。資格が取れるので、やっておいたらいいかなと思って。

司会 今は選択肢を広げておいて、将来自分がやりたいものがあつたとき、選べるようにしておくのは良いですね。

ひなたさんは、何か力を入れてることってある？

高橋 幼稚園から小学3年までピアノを習っていました。小学5年からはベースを弾いています。4月からバンドを組んでドラムをやっています。

司会 良いですねバンド。ちなみに部活は何をやっていますか。

伊舎堂 弓道部です。

永安 同じく弓道部です。

山中 吹奏楽部でフルートとピッコロを吹いています。

司会 偶然弓道と音楽に分かれましたね(笑)。

話題を変えて大竹高校のことを知らない人に紹介すると

司会 素敵ですね。市のいろんな施設でも展示してほしいな。3人は今2年生、ひなたさんは1年生だけど、これからの学校生活をどんなふうに通っていきたいですか。

伊舎堂 生徒会として、大竹高校のイメージをがらりと変えたい。楽しい学校だということをお印象づけたいです。

それと、所属している弓道部で全国大会へ行きたいです。

永安 これまでどおり生徒会やボランティアの活動をするとともに、進学しようと思っているので、勉強を頑張りたいと思います。

高橋 プライベートでは、バンドをやったり、生徒会では学校の印象とか中身を良くしていきたいと思っています。



大竹高校のイメージを変えたい。

伊舎堂 翔くん

今から20年前の平成13年。「広報おたけ」で、大竹市の魅力を募集し『おたけいいとこ発見隊』として、8カ月間連載をしました。そのとき大竹高校の思い出を寄せてくれた山根博子さん(本町2)の文章を再掲します。

下から見上げる坂道

この坂道を3年間通ったものだ。坂の上では陸上部、野球部の朝の練習の声。弾けるような声。この声を聞きながら、今日1日何かすごいことがありそうな、そんな気持ちで上ったものである。

夕方友人たちと、この坂を転がるように下る。大きな声で笑い、しゃべる。何の苦勞もなく自分のことだけを考え、友人といっしょにいる時間の楽しかったこと。

汽車に乗り遅れそうになると、この坂道を勢いつけて下る。途中止めたくても止まらない。トントン、トントン、下る。坂の下でやっと息をする。

笑って下る坂道は、ほんとうに短い。今思うと若さのエネルギーなのか、ほんとうに心の底から笑ったような気がする。坂の上では、やはり部活動の声。学校もキラキラ輝いていた。

坂を下りて30年。いっしょに笑って下りた友人は、今はもういない。あの笑顔はもう見る事ができない。

そう大竹高校の坂道、今は亡き友人ともう一度上ってみよう。

司会 素敵ですね。市のいろんな施設でも展示してほしいな。3人は今2年生、ひなたさんは1年生だけど、これからの学校生活をどんなふうに通っていきたいですか。



ソーシャルディスタンス座談会

山中 この代の生徒会で何かを残したいです。今までのことを引き継ぎながら、新しいことを生み出して、それが伝統になったらいいなと思います。



ボランティアで子どもたちと触れ合い楽しかった。

高橋 ひなたさん

す。昔からあるものを大切に、今必要なものを生み出していく。その1年、10年、100年の積み重ねが、振り返ると素晴らしい歴史につながっているのだと思いました。今日はありがとうございました。

現役高校生「今」を語る。

- 生徒会 2年 伊舎堂 翔くん (会長)
- 永安 佑輔くん (副会長)
- 山中 詩織さん (副会長)
- 1年 高橋ひなたさん (庶務)
- 司会 武田 宜裕 (企画財政課)

Round-table talk

司会 生活環境が変わると、いい言葉ですね。翔くん、大竹高校のいいところと、ちょっとここはどうかなと思うところを教えてください。

伊舎堂 みんな真面目に授業を受けて、フレンドリーなところがいい。でも、一人が何かやると、自分もやってもいいのかなと、周りに流されてしまふことがあります。道端にごみが落ちていても無視する。そんなところは直してほしいと思います。

司会 なるほど。学校生活やそのほかでもいいんだけど、印象に残っているエピソードを聞かせてくれる？

高橋 夏休みに生徒会のボランティア活動に参加しました。玖波1丁目の集会所で地域の人と一緒にあって、小学生たり、話し合ったりできるところです。

永安 総合学科で選択授業があり、自分の目標に近づける場所です。

山中 先生方も関わりやすいし、話しやすい。自分から積極的に質問しに行くと、ちゃんと教えてくれます。自分の動き次第で、生活環境が変わると思いました。

司会 生活環境が変わると、いい言葉ですね。翔くん、大竹高校のいいところと、ちょっとここはどうかなと思うところを教えてください。

伊舎堂 みんな真面目に授業を受けて、フレンドリーなところがいい。でも、一人が何かやると、自分もやってもいいのかなと、周りに流されてしまふことがあります。道端にごみが落ちていても無視する。そんなところは直してほしいと思います。

司会 なるほど。学校生活やそのほかでもいいんだけど、印象に残っているエピソードを聞かせてくれる？

高橋 夏休みに生徒会のボランティア活動に参加しました。玖波1丁目の集会所で地域の人と一緒にあって、小学生



将来は情報系の仕事がしたい。

永安 佑輔くん

ちの宿題を見たり、ゲームをしたり。それが楽しかったです。

伊舎堂 中学のときは、興味がなかったのですが、高校に入ってから積極的にボランティア活動をするようになりました。それに、今まではリーダー的な立場に立つことはなかったのですが、生徒会長として活動するようになったことです。

司会 翔くんが生徒会長として半年やってきて、「こんな経験をした」とかというのがありますか。

伊舎堂 大竹市の平和祈念式典で発表する『平和への誓い』の文章を考えたり、体育祭のあいさつや、文化祭の出し物を考えたり、100周年の記念式典でも代表してあいさつをします。

司会 あいさつばかりして

総合学科

従来の普通科と専門学科の特性を併せ持つ学科です。自分の興味や関心のある科目を主体的に選択することができ、自分にあった進路を見つめることができます。自ら学び、考える力を育てます。



大竹高校キャラクター 竹二ヨツキ デザイン 明本紗樹さん(2年)



山根さんが寄稿してくれた大竹高校の思い出を掲載した平成13年7月号